

こんな時どうする？ ～台風・大雨編～

台風は、地震と違い**事前に来ることが予想できる災害**です。

台風が接近してから慌てて準備をしようと思っても、必要な物が揃わず、十分な準備ができないことも少なくありません。

台風が接近する前に出来る準備、接近してから出来る準備をしっかりと確認しておきましょう。

台風が接近する前に・・・



○ 家の周りの点検をする

鉢植え、ゴミ箱、物干し竿など、強風によって飛ばされる可能性がある物は、室内にしまいましょう。

室内にしまえない物は、飛ばされないようにしっかりと固定しましょう。

塀等は、倒壊すると二次被害が発生する可能性がありますので、補強するなどの対策をしましょう。

○ 窓の確認・補強をする

飛来物によりガラスが割れることを防ぐため、雨戸やシャッターの設置がある場合は、雨戸などを活用しましょう。

雨戸などが無い場合は、窓ガラスに養生テープや飛散防止フィルムを貼るなどして補強し、カーテンを閉めましょう。

○ 浸水への備えをする

浸水による漏電、ショート、感電を防ぐため unnecessary 電化製品のコンセントを抜き、低所にある物は浸水の影響を受けない高所に移動させましょう。

断水に備えて飲料水の確保、浴槽に水を張るなどして、トイレなどで使用する生活用水を確保しましょう。

○ 避難準備をする

避難に備え、非常時持ち出し品を準備しましょう。



最寄りの避難場所を確認しておきましょう。

※ 非常時持ち出し品については、別掲載の「チェックリスト」を参考にしてください。

台風が接近してから・・・



○ 最新情報を確認

台風の規模、進路、降水量などをテレビ、ラジオ、インターネットなどで確認しましょう。

大規模な災害が想定される場合には、避難勧告が出ていなくても、早めに安全な場所に避難しましょう。



※ 車での避難には注意が必要です！

降水量が1時間に20ミリを超えると、ワイパーの効果が期待できず、視界が悪くなるため事故が発生する可能性が高くなりますし、ブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング）現象が起こりやすくなります。

雨がひどい時は、運転を控えましょう。



○ 不要不急の外出は控える

大雨による冠水、強風での転倒、飛散物、倒木などにより負傷する可能性があります。

また、落雷、竜巻、雹（ひょう）の発生も考えられますので、不要不急の外出は控えましょう。

○ 用水路、河川、海へは近付かない

増水した用水路、河川は、道路との境目が分からなくなり、足を取られたり、濁流に巻き込まれることがあります。

海岸付近では、高潮による被害も想定されますので、近付かないようにしましょう。

○ 屋外での作業は絶対にやめましょう

強風や雨で滑って**転倒**したり、高所から**落下**する可能性があります。

屋根などに異常がある場合は、事前に専門業者に修理を依頼しておきましょう。



日頃からの備えが大切です



○ 家屋や家の周りを確認しておきましょう

風水害に備え、側溝や排水溝の掃除をし、水はけをよくしておきましょう。

屋根や壁、塀などは日頃から点検し、修理・補強が必要な場合は、台風が来る前に修理をしておきましょう。

○ ハザードマップを確認しておきましょう

ハザードマップとは、**災害時の避難（場）所**や公的機関の所在地、また、**災害危険箇所**などの地図情報と風水害、地震に関する啓発情報を記したもので、市役所、区役所、役場などで入手できます。

日頃から家族でハザードマップで災害危険箇所や避難（場）所を確認しておきましょう。

○ 非常用品を備えておきましょう

災害が発生すると、停電・断水などが発生する可能性があります。

ライフラインが途絶えた時のことを想定して、日頃から非常用品や防災グッズを備えておきましょう。

